

社会科学習指導案

授業者

1. 日時 2018年6月8日(金) 2限時 9:30~10:20
2. 学級 2年C組
3. 場所 2年C組 教室
4. 教材 『中学社会 歴史 未来をひらく』 教育出版
5. 単元名 天下統一への歩み / 幕藩体制の確立と鎖国
6. 単元目標 信長・秀吉・家康による統一事業とその対外関係などから近世社会の基盤が
つくられたことを理解する。
7. 生徒観 小学校にて、安土桃山時代について学習しているが、織田信長や豊臣秀吉などの
キーワードについては、馴染みがあっても、諸政策について考察出来ている生徒は多くない
と考える。班学習や思考的な発問から諸政策についての理解及び考察に繋げる。
8. 教材観 安土桃山時代から江戸時代までの特徴の一つとして、天下を統一する者が現れ、
戦国時代の終焉を迎える。そして国家が安定し始める。天下を統一するために何をしたのか
それぞれの方法を理解させることが大きなねらいである。そのための教材として、教科書・
資料集以外に ICT 教材を用いて、生徒たちの興味・関心を高め、主体的な学習を促す。
9. 指導感 指導上の留意点としては生徒による主体的な学習及びその環境整備が挙げられ
る。グループワークの際はグループみんなで話し合いを進められているか、また話が脱線し
ていないか注意する。

10. 単元の評価基準

社会的事象への関 心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表 現	社会的事象について の知識・理解
・信長・秀吉の時期 の政治や社会の大き な変化に対する関心	・信長・秀吉による 統一事業と対外関係 のあらましを通し	・信長・秀吉の時期 の政治や社会の大き な変化と文化の展開	・信長・秀吉の時期 の政治や社会の大き な変化を、わが国の

を高め、意欲的に追 究している。 ・江戸幕府の政治に 対する関心を高め、 意欲的に追究してい る。	て、歴史の流れと時 代の特色を多角的・ 多面的に考察してい る。 ・江戸幕府の成立と 大名統制、鎖国政策、 身分制度の確立及 び、農村の様子を通 して、幕府の政治の 特色を多角的・多面 的に考察している。	に関する絵画や文献 などの資料を収集 し、適切に選択して 活用するとともに、 追究し考察した結果 をまとめたり、説明 したりしている。 ・江戸幕府の政治の 特色に関する文献な どの様々な資料を収 集し、適切に選択し て活用するととも に、追究し考察した 結果をまとめたり、 説明したりしてい る。	歴史と関わる世界の 歴史を背景に理解す るとともに、知識を 身に付けている。 ・江戸幕府の催事の 特色を、わが国の歴 史と関わる世界の歴 史を背景に理解する とともに、鎖国下の 対外関係に気付き、 その知識を身に付け ている。
--	--	---	--

11. 単元の指導と評価の計画 (全4時間)

	学習内容	関心・意欲・ 態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第1時	信長の台頭と室町幕 府の滅亡	○		○	○
第2時	信長の政治・秀吉の天 下統一		○		○
第3時	近世社会への幕開け		○	○	
本時	泰平の世の土台づく り	○			○

12. 本時の展開

(1) 本時の学習内容 泰平の世の土台づくり

(2) 本時の目標 関ヶ原の戦いが起きた理由を理解させ、何故江戸幕府が長く続いたのか大名統制の面から考察する。

(3) 本時の学習過程

時間	教師の指導・発問	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入 8分	<p>前回の復習 『前回誰の政策について学習しましたか。』</p> <p>家康プロフィール ・誕生年 ・死亡年 ・出身地 ・家康の息子 ・任命された役職 ・家康が祀られているお寺 ・1600年に起きた戦い</p> <p>板書 板書計画参照</p>	<p>発問に答える。 『豊臣秀吉』</p> <p>ノートをとる。</p>	<p>テンポ良く、わかりそうなものは発問する。</p> <p>プリントを配る。</p>
展開 40分	<p>関ヶ原の戦い 関ヶ原の戦いがなぜ起きてどのように進んでいったのか理解する。 ・秀吉の遺言を家康が破った。 (発問) 『家康はなぜ自分がNo.1になれると思ったのでしょうか。資料集86ページを見て考えてみましょう。』 ・石田三成と比較させる。</p>	<p>発問に答える。 『256の石高を持っていたから。』</p>	

<p>・西軍と東軍に分かれて関ヶ原の戦いが起きる。 ・短い戦だった。</p> <p>大阪の陣 方広寺の鐘をきっかけに戦いが始まることを理解させる。</p> <p>幕府の全国支配 ・江戸時代が長く続いた理由を大名統制の面から理解させる。 ・プリントの穴埋め。 (発問) 『148、235、264 これらの数字は何を表しているでしょうか。』 ・幕府とその他の大名の持っている領地はどれくらいか。 ・大名をどのように配置するのがポイントとなる。</p> <p>ペアワーク 譜代大名と外様大名をどのように配置するか考えよう。 考えたことを前に出て発表させる。 実際幕府はどのように配置したのか資料集86ページを見て確認する。</p> <p>板書</p>	<p>ノートをとる。</p> <p>穴埋めをする。</p> <p>発問に答える。 『親藩、譜代大名、外様大名の数。』『鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府の続いた期間』</p> <p>近くの人とペアになって考える。</p> <p>ノートをとる。</p>	<p>「国家安康」「君臣豊楽」を貼る。</p> <p>途中でヒントを出す。 (1185～1333、1338～1573、1603～1867) 誰が幕府を開いたか復習する。</p> <p>1人になっていないか確認する。</p>
--	--	---

	<p>参勤交代 大名行列では多額の費用がかかり、それによって幕府は外様大名が財力を持たせないようにしたことを理解させる。</p>		
まとめ2分	今日学習したことの復習をする。		